ソフトウェアの更新、バックアップ、および リカバリ

ユーザ ガイド

初版：2007 年 1 月

製品番号： 419773-291

目次

1　ソフトウェアの更新

HP の Web サイトから、コンピュータに同梱のソフトウェアの更新版を入手できます。

HP の Web サイトにあるほとんどのソフトウェアおよび BIOS アップデートは、*SoftPaqs* と呼ばれる圧縮ファイルにパッケージ化されています。

ダウンロード パッケージに Readme.txt というファイルが含まれている場合があります。このファイルには、ファイルのインストールとトラブルシューティングに関する情報が記載されています

ソフトウェアを更新するには、次の手順で操作します。

1. お使いのコンピュータ モデル、製品のカテゴリ、およびシリーズまたはファミリを確認します。コンピュータに現在インストールされている BIOS のバージョンを確認して、システム BIOS アップデートを準備します。

   コンピュータがネットワークに接続されている場合は、ソフトウェア アップデート（特にシステム BIOS アップデート）のインストールは、ネットワーク管理者に確認してから行ってください。

   注記　コンピュータ システムの BIOS は、システム ROM に格納されています。 BIOS は、オペレーティング システムを初期化し、コンピュータとハードウェア デバイスとの通信方法を決定し、ハードウェア デバイス間で日付と時刻などのデータを転送します。

   注記　Windows®には、コンピュータのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント制御機能があります。アプリケーションのインストール、ユーティリティの実行、Windows 設定の変更といった作業を実行する際には、アクセス許可またはパスワードを求められることがあります。詳細については、Windows オンライン ヘルプを参照してください。

2. HP の Web サイト（http://www.hp.com/jp/）にアクセスして更新します。

3. アップデートをインストールします。

BIOS の更新

利用可能な BIOS アップデートの中に、現在コンピュータにインストールされている BIOS よりも新しいバージョンの BIOS があるかどうかを調べるには、現在インストールされているシステム BIOS のバージョンを確認する必要があります。

BIOS のバージョン情報（*ROM 日付*および*システム BIOS* とも呼ばれる）を表示するには、fn+esc キーを押すか（Windows を起動済みの場合）、または[セットアップ ユーティリティ]を使用します。

[セットアップ ユーティリティ]を使用して BIOS 情報を表示するには、次の手順で操作します。

1. コンピュータの電源を入れるか再起動し、画面の左下隅に[Press <F10> to enter Setup]（セットアップを開始するには<F10>キーを押してください）というメッセージが表示されている間に f10 キーを押して、[セットアップ ユーティリティ]を起動します。
2. [セットアップ ユーティリティ]の起動時にシステム情報が表示されない場合は、矢印キーを使用して、**[Main]**（メイン）メニューを選択します。

   [Main]（メイン）メニューを選択すると、BIOS とその他のシステムの情報が表示されます。
3. [セットアップ ユーティリティ]を終了するには、矢印キーを使用して**[Exit]**（終了）→**[Exit Discarding Changes]**（変更を保存せずに終了）の順に選択し、enter キーを押します。

注意 コンピュータの損傷やインストールの失敗を防ぐため、BIOS アップデートのダウンロードとインストールを実行するときは必ず、AC アダプタを使用した信頼性の高い外部電源にコンピュータを接続してください。コンピュータがバッテリ電源で動作しているとき、別売のドッキング デバイスに接続されているとき、または別売の電源に接続されているときは、BIOS アップデートをダウンロードまたはインストールしないでください。ダウンロードおよびインストール時には、以下の指示に従ってください。

コンピュータの電源を切る目的で AC コンセントから電源コードを抜かないでください。

コンピュータをシャットダウンしたり、スリープまたはハイバネーションを起動したりしないでください。

デバイス、ケーブル、またはコードの挿入、取り外し、接続、または切断を行わないでください。

BIOS アップデートをダウンロードするには、次の手順で操作します。

1. お使いのコンピュータ用のソフトウェアを提供している HP の Web サイトのページにアクセスします。

   [スタート]→**[ヘルプとサポート]**の順に選択し、ソフトウェアとドライバのアップデートを選択します。
2. 画面の説明に従ってお使いのコンピュータを識別し、ダウンロードする BIOS アップデートにアクセスします。
3. ダウンロード エリアで次の操作を行います。

   a. お使いのコンピュータに現在インストールされている BIOS のバージョンよりも新しい BIOS アップデートを探します。日付や名前などの識別子を書き留めておきます。後で、ハードドライブにダウンロードしたアップデートを探すときにこの情報が必要になる場合があります。

   b. 画面の説明に沿って操作し、選択したバージョンをハード ドライブにダウンロードします。

BIOS アップデートのダウンロード先となるハード ドライブ上の場所へのパスを書き留めます。このパスは、アップデートをインストールするときに必要です。

注記 コンピュータをネットワークに接続している場合は、ソフトウェア アップデート（特にシステム BIOS アップデート）のインストールは、ネットワーク管理者に確認してから行ってください。

BIOS のインストール手順は一定ではありません。ダウンロード完了後に表示される画面の説明に沿って操作してください。 説明が表示されない場合は、次の手順で操作します。

1. **[スタート]**→**[コンピュータ]**の順に選択して、Windows エクスプローラを開きます。
2. ハード ドライブをダブルクリックします。通常は、ローカル ディスク（C:）を指定します。
3. メモしておいたハード ドライブ パスを使用して、アップデートが格納されているハード ドライブのフォルダを開きます。
4. 拡張子が .exe であるファイル（*filename*.exe など）をダブルクリックします。

   BIOS のインストールが開始されます。
5. 画面の説明に沿って操作し、インストールを完了します。

注記 インストールの成功を報告するメッセージが表示された後、ダウンロードしたファイルをハード ドライブから削除できます。

ソフトウェア プログラムとドライバの更新

BIOS アップデート以外のソフトウェアのダウンロードとインストールを行うには、次の手順で操作します。

1. お使いのコンピュータ用のソフトウェアを提供している HP の Web サイトのページにアクセスします。

   [スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択し、ソフトウェアとドライバのアップデートを選択します。

2. 画面の説明に沿って操作し、アップデートするソフトウェアを見つけます。

3. ダウンロード エリアで、ダウンロードするソフトウェアを選択し、Web ページの説明に沿って操作します。

   注記　ソフトウェアのダウンロード先となるハード ドライブ上の場所へのパスを書き留めておいてください。ソフトウェアをインストールするときに、このパスが必要です。

4. ダウンロードが終了したら、**[スタート]→[コンピュータ]**の順に選択して、Windows エクスプローラを開きます。

5. ハード ドライブをダブルクリックします。通常は、ローカル ディスク（C:）を指定します。

6. メモしておいたハード ドライブ パスを使用して、アップデートが格納されているハード ドライブのフォルダを開きます。

7. 拡張子が.exe であるファイル（*filename*.exe など）をダブルクリックします。

   インストールが開始されます。

8. 画面の説明に沿って操作し、インストールを完了します。

注記　インストールの成功を報告するメッセージが表示された後、ダウンロードしたファイルをハード ドライブから削除できます。

2　システム情報の復元

オペレーティング システムおよびリカバリ マネージャ ソフトウェアで提供されているツールは、システムに障害が発生した場合に情報を保護して復元するための以下の作業を支援するように設計されています。

- 情報を定期的にバックアップして、重要なシステム ファイルを保護します。
- リカバリ ディスクのセットを作成します（リカバリ マネージャ ソフトウェアの機能）。システムに障害が発生した場合やシステムが不安定になった場合は、リカバリ ディスクを使用してコンピュータを起動し、オペレーティング システムとソフトウェア プログラムの出荷時設定を復元します。
- システムの復元ポイント（オペレーティング システムの機能）を作成します。システムの復元ポイントを使用すると、コンピュータを以前の状態に復元することにより、システムに対する不要な変更を破棄できます。
- プログラムまたはドライバを修復します（リカバリ マネージャ ソフトウェアの機能）。この機能を使用すると、完全なシステム リカバリを実行しなくても、プログラムやドライバを再インストールできます。
- 完全なシステム リカバリを実行します（リカバリ マネージャ ソフトウェアの機能）。リカバリ マネージャを使用すると、システムに障害が発生した場合やシステムが不安定になった場合に、完全な出荷時イメージを修復できます。リカバリ マネージャ ソフトウェアは、ハード ドライブ上の専用のリカバリ パーティション、またはユーザが作成したリカバリ ディスクから実行できます。

情報のバックアップ

バックアップするタイミング

- スケジュールに従って定期的に

  注記　定期的に情報をバックアップするための確認メモを設定してください。

- コンピュータを修理または復元する前
- ソフトウェアまたはハードウェアを追加または変更する前

バックアップ時の推奨事項

- Windows のシステム復元機能を使用して、システム復元ポイントを作成します。
- 個人用ファイルを[ドキュメント]フォルダに保存し、これらのファイルを定期的にバックアップします。
- 関連するプログラムに保存されているテンプレートをバックアップします。
- 設定のスクリーン ショットを撮って、カスタマイズしたウィンドウ、ツールバー、またはメニュー バーの設定を保存します。

  設定を再設定する必要がある場合は、スクリーン ショットを撮っておくと、時間を節約できます。

  画面をコピーして、ワード プロセッサ ドキュメントに貼り付けるには、次の手順で操作します。

  a. 画面を表示します。

  b. 画面をコピーします。

  アクティブなウィンドウのみをコピーするには、 alt+fn+prt sc キーを押します。

  画面全体をコピーするには、 fn+prt sc キーを押します。

  c. ワード プロセッサ ドキュメントを開き、**[編集]**→**[貼り付け]**を選択します。

システム復元ポイントの使用

システムをバックアップするとき、システム復元ポイントを作成します。システム復元ポイントを使用すると、特定の時点でのハード ドライブのスナップショットを保存して、名前を付けることができます。後でシステムに対する変更を破棄する場合、そのポイントまで戻ってシステムを復元できます。

注記 以前の復元ポイントまで修復した場合、その最後の復元ポイント以降に保存したデータ ファイルや電子メールには影響を与えません。

追加の復元ポイントを作成して、システム ファイルと設定をさらに保護することもできます。

復元ポイントを作成するタイミング

- ソフトウェアまたはハードウェアを追加する前、または大きな変更を行う前
- システムが最適な状態で動作しているときに定期的に

注記 復元ポイントに戻した後で取り消す場合は、復元を破棄できます。

システム復元ポイントの作成

1. **[スタート]→[コントロール パネル]→[システムとメンテナンス]→[システム]**の順に選択します。
2. 左側のペインで、**[システムの保護]**をクリックします。
3. **[システムの保護]**タブをクリックします。
4. [自動復元ポイント]の下で、復元ポイントを作成したいディスクを選択します。
5. **作成**をクリックします。

   [システムの保護]ウィンドウが開きます。
6. 画面に表示される手順に従います。

以前の日付と時刻の状態への復元

コンピュータが最適な状態で機能していた時点の復元ポイント（以前の日付と時刻で作成）に戻すには、次の手順で操作します。

1. **[スタート]→[コントロール パネル]→[システムとメンテナンス]→[システム]**の順に選択します。
2. 左側のペインで、**[システムの保護]**をクリックします。
3. **[システムの保護]**タブをクリックします。
4. **[システムの復元]**をクリックし、**[次へ]**をクリックします。

   [システムの復元]ウィンドウが開きます。
5. 画面に表示される手順に従います。

リカバリ ディスクの作成

リカバリ マネージャは、コンピュータのリカバリ CD または DVD のセットを作成します。システムに障害が発生した場合やシステムが不安定になった場合は、リカバリ ディスクを使用してオペレーティング システムとソフトウェア プログラムの出荷時設定を復元します。

注記 これらのディスクは慎重に取り扱い、安全な場所に保管してください。ソフトウェアを使用して作成できるリカバリ ディスクは、1 セットだけです。

リカバリ ディスクを作成する前に、次のガイドラインを確認してください。

- 高品質の CD-R、DVD-R、または DVD+R メディアを別途購入する必要があります。

  注記 リカバリ マネージャ ソフトウェアでは、フォーマットされた DVD±RW ディスクおよび DVD±RW 2 層ディスクは使用できません。

- このプロセスでは、コンピュータを AC 電源に接続する必要があります。
- リカバリ ディスクは、1 台のコンピュータに対して 1 セットだけ作成できます。
- コンピュータのオプティカル ドライブにディスクを挿入する前に、各ディスクに番号を付けてください。
- 必要に応じて、リカバリ ディスクの作成が終了する前にプログラムを終了できます。リカバリ マネージャを次回開いたときに、前回中止した時点からディスク作成処理を続行できます。

リカバリ ディスク セットを作成するには、次の手順で操作します。

1. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[リカバリ マネージャ]**→**[リカバリ マネージャ]**の順に選択します。

   リカバリ マネージャが開きます。

2. **[Advanced Options]**（詳細オプション）をクリックします。

   注記 バッテリ電源でコンピュータを稼動している場合、次の手順に進む前に AC 電源に接続するように指示するプロンプトが表示されます。

3. **[Recovery disc creation]**（リカバリ ディスクの作成）をクリックし、**[次へ]**をクリックします。
4. 画面に表示される説明に沿って操作します。

ソフトウェア プログラムとドライバの再インストール

出荷時にプリインストールされているプログラムやドライバが誤って消去されたり、損傷を受けたりした場合、リカバリ マネージャを使用して再インストールできます。

注記　このコンピュータに同梱されていないソフトウェアは、製造元が提供したディスクから再インストールするか、その製造元の Web サイトからダウンロードして再インストールする必要があります。

注記　プログラムを再インストールする前に、完全にアンインストールされていることを確認してください。

リカバリ マネージャにより、破壊されたシステム ファイルが置き換えられ、プログラム内の削除されたシステム ファイルが再インストールされます。

- 再インストールするプログラムがまだコンピュータに残っている場合、再インストール プロセスではユーザ固有の設定に影響を与えません。
- プログラムがコンピュータから削除されている場合、再インストール プロセスでは、出荷時イメージにプログラムやユーティリティが再インストールされますが、ユーザ固有の設定を復元することはできません。

プリインストールされているプログラムとドライバの再インストール

1. プログラムやドライバを削除します。

   注記　場合によっては、ドライバが[Programs and Features（プログラムと機能)]リストに表示されないことがあります。ドライバが表示されていない場合、削除する必要はありません。

   a. **[スタート]→[コントロール パネル]→[プログラム]→[プログラムのアンインストール]**の順に選択します。

   b. 削除するプログラムまたはドライバを右クリックし、**[アンインストール]**をクリックします。

2. プログラムまたはドライバを再インストールします。

   a. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[リカバリ マネージャ]→[リカバリ マネージャ]**の順に選択します。

      リカバリ マネージャが開きます。

   b. **[Advanced Options]**（詳細オプション）をクリックします。

   c. **[Software program re-installation]**（ソフトウェア プログラムの再インストール）または**[Hardware driver re-installation]**（ハードウェア ドライバの再インストール）を選択し、**[次へ]**をクリックします。

   d. 画面に表示される説明に沿って操作します。

   e. 要求された場合はコンピュータを再起動します。

ディスクからのプログラムの再インストール

1. ディスクをオプティカル ドライブに挿入します。
2. インストール ウィザードが開いたら、画面のインストール指示に従います。
3. 要求された場合はコンピュータを再起動します。

リカバリの実行

システムに障害が発生した場合やシステムが不安定になった場合、リカバリ マネージャ ソフトウェアを使用してシステムを修復または復元できます。リカバリ マネージャは、ユーザが作成したリカバリ ディスク、またはハード ドライブ上の専用のリカバリ パーティションから実行できます。

注記 Windows には、システムの復元機能やドライバ ロールバック機能などの独自の修復機能が組み込まれています。これらの機能をまだ実行していない場合は、リカバリ マネージャを使用する前に実行してみてください。

注記 リカバリ マネージャでは、出荷時にプリインストールされていたソフトウェアのみが復元されます。このコンピュータに付属していないソフトウェアは、製造元から提供されたディスクまたは製造元の Web サイトからダウンロードしたファイルから再インストールする必要があります。

リカバリ ディスクからの復元

リカバリ ディスクからシステムを復元するには、次の手順で操作します。

1. すべての個人ファイルをバックアップします。
2. 1 枚目のリカバリ ディスクをオプティカル ドライブに挿入し、コンピュータを再起動します。
3. 画面に表示される手順に従います。

ハード ドライブ上のリカバリ パーティションからの復元

[スタート]ボタンまたは f11 キーを使用して、ハード ドライブ上のパーティションから修復を実行できます。

パーティションからシステムを復元するには、次の手順で操作します。

1. 次のいずれかの方法でリカバリ マネージャにアクセスします。
   - **[スタート]→[すべてのプログラム]→[リカバリ マネージャ]→[リカバリ マネージャ]**の順に選択します。
   - コンピュータを再起動し、[Press <F11> for recovery]（リカバリを実行するには<F11>キーを押してください）というメッセージが表示されている間に、f11 キーを押します。次に、**[Recovery Manager]**（リカバリ マネージャ）を選択します。

   リカバリ マネージャが開きます。
2. **[Advanced Options]**（詳細オプション）をクリックします。
3. **System recovery**（システムの修復）をクリックし、**次へ**をクリックします。
4. 画面に表示される説明に沿って操作します。

ハード ドライブ上のリカバリ パーティションの削除

リカバリ マネージャの[Advanced Options]（詳細オプション）メニューには、リカバリ パーティションを削除するオプションがあります。この操作を行うと、ハード ドライブの空き容量を増やすことができます。すでにリカバリ ディスクを作成している場合にのみ、リカバリ パーティションを削除してください。

注意　リカバリ ディスクを作成した後にリカバリ パーティションを削除すると、ハード ドライブの空き容量を増やすことができます。ただし、これを行うことはお勧めしません。このパーティションを削除すると、リカバリ マネージャ ソフトウェアを含め、パーティションにあるすべての情報が失われます。それ以降は、リカバリ ディスクを使用して、リカバリ マネージャ ソフトウェアにアクセスする必要があります。

リカバリ パーティションを削除するには、次の手順で操作します。

1. まだリカバリ ディスクを作成していない場合は、すぐに作成します。
2. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[リカバリ マネージャ]→[リカバリ マネージャ]**の順に選択します。

   リカバリ マネージャが開きます。
3. **[Advanced Options]**（詳細オプション）をクリックします。
4. **[Remove recovery partition]**（システム リカバリ パーティション）をクリックし、**[次へ]**をクリックします。
5. 画面に表示される説明に沿って操作します。

再インストールしたソフトウェアの更新

システム リカバリを実行した後、インターネットに接続して、再インストールしたすべてのソフトウェアを更新します。

オペレーティング システムおよびコンピュータに提供されているその他のソフトウェアの更新リンクにアクセスするには、次の手順で操作します。

▲ **[スタート]**→**[ヘルプとサポート]**を選択します。

オプションのソフトウェアを更新するには、ソフトウェアの製造元が提供する手順に従ってください。プログラムによっては、プログラム内の[ヘルプ]ボタンまたは[ヘルプ]メニューからアクセスできる更新機能が組み込まれている場合があります。

索引